



平成26年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年8月7日

上場取引所 東

上場会社名 川澄化学工業
コード番号 7703 URL <http://www.kawasumi.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 川野 幸博

問合せ先責任者 (役職名) 管理部長

(氏名) 岡本 稔

TEL 03-5769-2600

四半期報告書提出予定日 平成25年8月7日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年3月期第1四半期の連結業績(平成25年4月1日～平成25年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第1四半期	6,533	4.1	△147	—	△104	—	△321	—
25年3月期第1四半期	6,277	△19.2	△49	—	△154	—	△575	—

(注) 包括利益 26年3月期第1四半期 △115百万円 (—%) 25年3月期第1四半期 △1,186百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第1四半期	△14.04	—
25年3月期第1四半期	△25.18	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
26年3月期第1四半期	41,734	34,715	82.4	1,504.43
25年3月期	43,092	35,002	80.6	1,518.38

(参考) 自己資本 26年3月期第1四半期 34,402百万円 25年3月期 34,721百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	—	7.50	—	7.50	15.00
26年3月期	—	—	—	—	—
26年3月期(予想)	—	7.50	—	7.50	15.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成26年3月期の連結業績予想(平成25年4月1日～平成26年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	14,100	7.8	250	142.7	250	45.3	50	—	2.19
通期	28,800	3.5	700	67.1	700	△15.5	500	△38.9	21.86

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	26年3月期1Q	22,948,003 株	25年3月期	22,948,003 株
② 期末自己株式数	26年3月期1Q	80,352 株	25年3月期	80,264 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	26年3月期1Q	22,867,676 株	25年3月期1Q	22,867,876 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了しております。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記に記載した予想数値は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不確定な要素を含んでおります。実際の業績等は、業況の変化等により、上記予想数値と異なる場合があります。なお、上記予想に関する事項は添付資料の3ページをご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 継続企業の前提に関する重要事象等	3
4. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当社グループは、業績の回復と成長に向けて、ローコストオペレーションと成長分野への経営資源の傾斜配分強化の2点を基本方針として取り組んでおります。

既存事業の収益性を立て直すためには、売上を回復させること、そしてこれまでと次元の違うローコストオペレーションを実現する必要があり、タイパーツ高やタイ国における最低賃金の上昇などの逆風を乗り越え、全部門で徹底したコスト削減に取り組んでまいります。

洪水被災を受けた海外向け血液バッグについては、タイ新工場が今秋には操業を開始する予定であり、需要の拡大が想定されるグローバル市場でのシェア回復・拡大に向けた体制が整います。

成長分野のひとつとして位置づける血管内治療分野においては、昨年末に製造販売承認を取得した新製品の胸部大動脈用ステントグラフト「Najuta(ナユタ)」を、当第1四半期に販売開始いたしました。当製品は、これまでステントグラフト治療が困難であった胸部大動脈の湾曲した部分にできた動脈瘤を、脳につながる血管を塞ぐことなく治療が可能となり、今まで開胸手術しか選択肢のなかった症例にも適用できる製品として評価を得ております。

当第1四半期連結累計期間の経営成績については以下のとおりです。

<売上高>

売上高は、国内向け血液バッグの販売が前年同期に比べ増加したことや、胸部大動脈用ステントグラフトの販売を開始したことなどで、前年同期に比べ2億55百万円増の65億33百万円(前年同期比4.1%増)となりました。国内・海外別の売上高につきましては、国内売上高は、前年同期に比べ1億83百万円増の50億82百万円(同3.7%増)、海外売上高は、前年同期に比べ72百万円増の14億50百万円(同5.2%増)となりました。

<売上総利益・営業利益>

売上総利益は、タイパーツ高にともなう原価高の影響を受けたものの、売上増加や前年同期に計上したタイ洪水関連費用の減少などにより、前年同期に比べ53百万円増の19億80百万円(同2.8%増)となりました。

また、販売費及び一般管理費は、研究開発費の増加やタイ国生産子会社の新工場稼働に向けた準備費用などにより、前年同期に比べ1億51百万円増の21億27百万円(同7.7%増)となりました。

これにより、営業利益は、前年同期に比べ98百万円減の1億47百万円の損失となりました。

<経常利益>

経常利益は、為替差損益が前年度は差損だったものが差益に転じたことにより営業外損益が改善し、前年同期に比べ49百万円増となりましたが、1億4百万円の損失となりました。

<四半期純利益>

四半期純利益は、2011年10月に発生したタイ国洪水による特別損失を前年同期に計上していた影響により、当期は2億54百万円増の3億21百万円の損失となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

①血液及び血管内関連

国内向け血液バッグの販売増加、当期に販売開始されたステントグラフトの売上高が増加したことにより、売上高は、前年同期に比べ4億48百万円増の30億26百万円(同17.4%増)、セグメント利益は、前年同期に比べ1億93百万円増の1億99百万円(同3354.1%増)となりました。

②体外循環関連

血液浄化製品の販売増加や透析用血液回路の販売回復などにより売上高が増加した一方、OEM品の販売が在庫調整の影響を受けたことにより、売上高は、前年同期に比べ1億92百万円減の35億6百万円(同5.2%減)、セグメント利益は、前年同期に比べ2億91百万円減の3億43百万円の損失となりました。

(2) 財政状態に関する説明

① 資産、負債、純資産の状況

当第1四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べ13億58百万円減の417億34百万円となりました。

流動資産は、主として現金及び預金、受取手形及び売掛金、棚卸資産の減少により、23億24百万円減の218億1百万円となりました。

固定資産は、主として有形固定資産が増加したことにより、9億66百万円増の199億33百万円となりました。

流動負債は、主として買掛金、賞与引当金の減少により、10億13百万円減の46億47百万円となりました。

固定負債は、主として退職給付引当金の減少により、57百万円減の23億71百万円となりました。

純資産は、主として利益剰余金の減少により、2億86百万円減の347億15百万円となりました。

これらの結果、自己資本比率は82.4%となり、前連結会計年度末と比べ、1.8ポイント増となりました。

② キャッシュ・フローの状況

当第1四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物は、前年同期に比べ3億8百万円減の81億38百万円となりました。

当第1四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの内容は次のとおりであります。

営業活動によるキャッシュ・フローは、前年同期に比べ4億98百万円増の2億12百万円となりました。主な内容は、売上債権の増減額の7億49百万円であります。

投資活動によるキャッシュ・フローは、前年同期に比べ1億77百万円減の△11億22百万円となりました。主な内容は、有形固定資産の取得による支出の△11億26百万円であります。

財務活動によるキャッシュ・フローは、前年同期に比べ2百万円減の△1億56百万円となりました。主な内容は、配当金の支払の△1億51百万円であります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、平成25年5月10日の「平成25年3月期 決算短信」で公表いたしました第2四半期連結累計期間及び通期の連結業績予想に変更はありません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成25年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	9,149	8,154
受取手形及び売掛金	7,799	7,080
商品及び製品	4,089	3,896
仕掛品	717	685
原材料及び貯蔵品	1,602	1,373
その他	770	615
貸倒引当金	△4	△3
流動資産合計	24,125	21,801
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	6,849	7,734
機械装置及び運搬具（純額）	4,233	4,468
その他（純額）	4,559	4,274
有形固定資産合計	15,642	16,477
無形固定資産		
のれん	108	90
特許等実施権	33	8
その他	270	246
無形固定資産合計	411	344
投資その他の資産		
投資有価証券	2,146	2,471
その他	810	684
貸倒引当金	△43	△44
投資その他の資産合計	2,913	3,111
固定資産合計	18,967	19,933
資産合計	43,092	41,734
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,374	1,943
未払法人税等	324	15
引当金	317	19
その他	2,644	2,668
流動負債合計	5,661	4,647
固定負債		
退職給付引当金	1,881	1,831
負ののれん	5	—
その他	543	540
固定負債合計	2,429	2,371
負債合計	8,090	7,018

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成25年6月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	6,642	6,642
資本剰余金	6,462	6,462
利益剰余金	22,445	21,953
自己株式	△56	△56
株主資本合計	35,494	35,001
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△71	147
為替換算調整勘定	△700	△746
その他の包括利益累計額合計	△772	△598
少数株主持分	280	312
純資産合計	35,002	34,715
負債純資産合計	43,092	41,734

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年6月30日)
売上高	6,277	6,533
売上原価	4,350	4,553
売上総利益	1,926	1,980
販売費及び一般管理費	1,975	2,127
営業損失(△)	△49	△147
営業外収益		
受取利息	9	3
受取配当金	7	9
負ののれん償却額	5	5
為替差益	—	35
作業くず売却収入	15	9
その他	29	37
営業外収益合計	67	100
営業外費用		
支払利息	1	11
為替差損	134	—
持分法による投資損失	13	18
減価償却費	—	16
その他	23	10
営業外費用合計	172	57
経常損失(△)	△154	△104
特別利益		
固定資産売却益	0	2
特別利益合計	0	2
特別損失		
固定資産除売却損	0	0
災害による損失	458	—
その他	—	0
特別損失合計	459	0
税金等調整前四半期純損失(△)	△613	△102
法人税、住民税及び事業税	23	28
法人税等調整額	△60	189
法人税等合計	△37	218
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△575	△320
少数株主利益	0	0
四半期純損失(△)	△575	△321

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△575	△320
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△96	218
為替換算調整勘定	△514	△13
その他の包括利益合計	△610	204
四半期包括利益	△1,186	△115
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△1,200	△147
少数株主に係る四半期包括利益	14	32

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純損失(△)	△613	△102
減価償却費	568	627
有形固定資産除却損	0	0
有形固定資産売却損益(△は益)	△0	△2
負ののれん償却額	△5	△5
引当金の増減額(△は減少)	△287	△346
受取利息及び受取配当金	△16	△13
支払利息	1	11
災害損失	243	—
持分法による投資損益(△は益)	13	18
売上債権の増減額(△は増加)	950	749
たな卸資産の増減額(△は増加)	△714	474
仕入債務の増減額(△は減少)	△172	△452
その他	△41	△411
小計	△74	546
利息及び配当金の受取額	17	15
利息の支払額	△1	△11
法人税等の支払額	△227	△338
営業活動によるキャッシュ・フロー	△286	212
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△953	△1,126
無形固定資産の取得による支出	△7	△5
有形固定資産の売却による収入	2	5
その他	14	4
投資活動によるキャッシュ・フロー	△944	△1,122
財務活動によるキャッシュ・フロー		
自己株式の純増減額(△は増加)	—	△0
配当金の支払額	△148	△151
少数株主への配当金の支払額	△2	—
ファイナンス・リース債務の返済による支出	△2	△4
財務活動によるキャッシュ・フロー	△153	△156
現金及び現金同等物に係る換算差額	△174	68
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△1,559	△997
現金及び現金同等物の期首残高	10,005	9,135
現金及び現金同等物の四半期末残高	8,446	8,138

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第1四半期連結累計期間(自平成24年4月1日至平成24年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

	血液及び血管 内関連 (百万円)	体外循環 関連 (百万円)	合計 (百万円)	調整額 (百万円) (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (百万円) (注) 2
売上高					
外部顧客への売上高	2,578	3,698	6,277	—	6,277
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	2,578	3,698	6,277	—	6,277
セグメント利益又は損失(△)	5	△52	△46	△3	△49

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額△3百万円は、各報告セグメントに未配分の連結調整項目であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

3. 地域に関する情報

前第1四半期連結累計期間(自平成24年4月1日至平成24年6月30日)

売上高

米州 (百万円)	欧州 (百万円)	アジア・オセアニア (百万円)	その他 (百万円)	計 (百万円)
679	178	419	100	1,378

(注) 1. 地域の区分は、地理的近接度によっております。

2. 各区分に属する主な内訳は次のとおりであります。

(1) 米州……………米国、メキシコ 他

(2) 欧州……………ドイツ、スペイン 他

(3) アジア・オセアニア……………タイ、台湾 他

(4) その他……………トルコ、サウジアラビア 他

3. 海外売上高は、当社および連結子会社の本邦以外の地域における売上高であります。

Ⅱ 当第1四半期連結累計期間（自 平成25年4月1日 至 平成25年6月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

	血液及び血管 内関連 (百万円)	体外循環 関連 (百万円)	合計 (百万円)	調整額 (百万円) (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (百万円) (注) 2
売上高					
外部顧客への売上高	3,026	3,506	6,533	—	6,533
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	3,026	3,506	6,533	—	6,533
セグメント利益又は損失 (△)	199	△343	△143	△3	△147

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額△3百万円は、各報告セグメントに未配分の連結調整項目であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

3. 地域に関する情報

当第1四半期連結累計期間（自 平成25年4月1日 至 平成25年6月30日）

売上高

米州 (百万円)	欧州 (百万円)	アジア・オセ アニア (百万円)	その他 (百万円)	計 (百万円)
565	243	564	76	1,450

(注) 1. 地域の区分は、地理的近接度によっております。

2. 各区分に属する主な内訳は次のとおりであります。

(1) 米 州……………米国、メキシコ 他

(2) 欧 州……………ドイツ、スペイン 他

(3) アジア・オセアニア……………タイ、台湾 他

(4) そ の 他……………トルコ、サウジアラビア 他

3. 海外売上高は、当社および連結子会社の本邦以外の地域における売上高であります。